

平成26年度(2014年度) 建設コストの計画と実績

[単位:百万円(消費税込み)]

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成25年度まで (B)	平成26年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
東日本 高速 道路 路線	北海道縦貫自動車道函館名寄線 大沼公園IC～落部IC新設事業	44,996	39,005	1,373	40,378	△ 4,617	・事業損失補償内容の見直し等による減
	常磐自動車道 常磐富岡IC～相馬IC新設事業	93,138	21,025	69,453	90,479	△ 2,658	・差額は、財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	常磐自動車道 相馬IC～新地IC新設事業	24,400	0	14,817	14,817	△ 9,582	・差額は、橋長見直し等による減及び財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	常磐自動車道 新地IC～山元IC新設事業	53,670	0	30,861	30,861	△ 22,808	・差額は、橋長見直し等による減及び財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	東北縦貫自動車道弘前線 久喜白岡JCT改築事業	10,863	0	4,316	4,316	△ 6,546	・差額は橋梁構造の変更等による減及び財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	東北縦貫自動車道八戸線 八戸JCT新設事業	1,720	1,583	54	1,637	△ 82	・工事等数量の確定等による減
	関越自動車道新潟線 高坂SA(上り)付加車線改築事業	3,401	2,121	414	2,535	△ 865	・関係機関との協議により付替跨道橋2橋を1橋に統合したこと等による減。
	常磐自動車道 ならばPA新設事業	2,107	0	1,816	1,816	△ 290	・差額は、他事業との調整等による減及び財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、PA新設に要した費用。
	常磐自動車道 南相馬鹿島SA新設事業	2,064	0	1,207	1,207	△ 856	・差額は、財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、SA新設に要した費用。
	常磐自動車道 鳥の海PA新設事業	1,922	0	989	989	△ 932	・差額は、財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、PA新設に要した費用。
	東関東自動車道水戸線 三郷JCT(二次改築)改築事業	22,014	3,952	108	4,060	△ 17,953	・差額は、Gランプ等の改築に要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、Bランプの改築に要した費用。
	東関東自動車道水戸線 谷津船橋IC新設事業	2,868	2,403	165	2,569	△ 298	・工事等数量の確定等による減
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 白岡菖蒲IC～久喜白岡JCT新設事業	11,225	9,961	787	10,749	△ 475	・工事等数量の確定等による減
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 久喜白岡JCT新設事業	14,655	0	5,760	5,760	△ 8,894	・差額は橋梁構造の変更等による減及び付帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、JCT新設に要した費用。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 江戸崎PA新設事業	1,428	0	1,189	1,189	△ 238	・差額は、付帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、PA新設に要した費用。
	東日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高 速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	41,370	10,990	1,576	12,566	△ 28,803	・差額は、施工中のスマートICに要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、1箇所の供用及び2箇所の 本完了にに要した費用。
	一般国道47号(仙台北部道路) 富谷JCT～富谷IC新設事業	2,281	1,968	32	2,001	△ 279	・工事等数量の確定等による減
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 久喜白岡JCT～五霞IC新設事業	26,660	0	20,396	20,396	△ 6,263	・差額は、付帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 五霞IC～つくば中央IC新設事業	44,620	0	19,402	19,402	△ 25,217	・差額は、境古河IC～つくば中央IC間等の工事に要する費 用。 ・平成26年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 稲敷IC～大栗JCT新設事業	20,636	0	8,108	8,108	△ 12,527	・差額は、神崎IC～大栗JCT間等の工事に要する費用。 ・平成26年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 平成26年度修繕事業	128,468	-	68,783	68,783	△ 59,684	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受 する費用。	
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 災害復旧事業	150,202	97,018	7,308	104,326	△ 45,876	・差額は、平成27年度以降の災害対応に要する費用。	

注1)平成26年度(2014年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□ は、平成26年度に完了している新設・改築事業である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成26年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成25年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。